

玉山登山3日目 2015年3月24日

俳雲山荘～玉山頂上～俳雲山荘～玉山登山口 阿里山から公用バスで嘉義市へ移動
簡単な朝食を取り朝3時半に出発する。昨夜かなり降った雨は止んだがガスが濃い。ゆっくりしたペースで歩む。3600m 辺りからうっすらと雪が積もっている。気温はそれ程低いとは感じられないが昨夜の雨は夜半には雪になったようである。先行パーティが難渋して進めなくなっている。明らかに雪に慣れていない。地元民やシンガポールや香港から来た人にとって雪道に接することは余りないであろう。欧州から来た人たちはさっさと登って行った。林さんが心配してくれたが鎖がしっかり設置されおり心配なし。ご来光は望めなかったが雪の玉山に登るという期待は満足できた。この時期は思わぬ大雪が降ることもあるとのこと。

小屋に戻って丼麵の朝食を食べ8時半から下山する。天気は回復、玉山がよく見える。わずか一日違いでシャクナゲがさらに花を開いていた。阿里山は平日に関わらず結構な人出。春の行楽シーズンは日本と同じ。ホテルで預けた荷物を受け取り嘉義まで公用バスで向う。

阿里山から玉山などの高山までの気候と植生変化は台湾の自然を知る上で興味深い。麓の亜熱帯から寒帯まで植生にも目を向けたい。さらに阿里山の原住民（先住民）のことを知り得たことはよかった。山だけでなく文化や歴史にも留意し理解を深めたいものである。



3700m 付近から雪が増えてくる



傾斜は強い



岩場になってくる



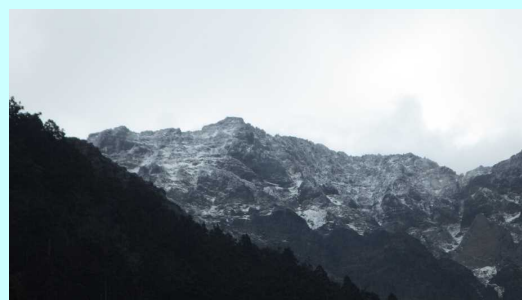
登頂できました



林さんと握手する



下山時に撮影した玉山



右は小屋から撮影した玉山